

オ2回環境問題シンポジウム・アンケート結果

土木学会環境問題小委員会

オ2回環境問題シンポジウムに参加された方の名簿を基にシンポジウム終了後ダイレクトメールでアンケート用紙を郵送し、解答を御返送頂いたので、その結果をここに報告致します。

参加者数 134名（署名者のみ・アンケート発送） 解答数 64名（47%） 前刷販売数 145部

I. アンケート用紙

1. 氏名（とく名で結構です） 年令 オ（男・女）
2. 所属名
3. 仕事の内容（できるだけ具体的に）
4. いつも出席する学会のシンポジウム等について（環境問題・衛生工学・水理・土木計画・海岸工学・他）
5. 環境問題シンポジウムについて
 - (1) オ1回に参加した（Yes, No）
 - (2) 参加の動機（本人の興味、職務上必要だから、上司の指示、ついでに、なんとなく、その他）
 - (3) 何で知りましたか（学会誌、ポスター、委員会関係者から、その他）
 - (4) 講演をきいてどのテーマに興味をもたれましたか（1つとはみぎりません）
河川水質、水理模型、公害地計画、リモートセンシング、生涯統計と乗乗初、処分需要、
NP発生源、琵琶湖のモデル化、湖水水質の総合指標
 - (5) 今後とり上げるべきテーマにつきお考えをお書き下さい。
 - (6) シンポジウムの運営（時間、テーマ、内容等）についての御意見をお書き下さい。
6. その他お気づきの点をお書き下さい。

II. 結 果

1. 年 令

年 代	大 学	地方公務員	国家公務員	研究所	電 力	コンサルタント	建設業	計	%
20代	4	4	5	0	1	9	4	27	43
30代	9	2	4	5	1	3	3	27	43
40代	3	0	0	3	0	0	1	7	11
以 上	0	0	1	1	0	0	0	2	3
計	16	6	10	9	2	12	8	63	100

2. 出席する学会のシンポジウム等（重複あり）

項 目	環境問題	衛生工学	水 理	土木計画	海岸工学	そ の 他	計
人 数(人)	29	19	11	9	13	6	87
構 成 比(%)	33	22	13	10	15	7	100

3. オ1回参加者 13名（21%）

4. 出席の動機（重複あり）

項 目	本人の興味	取務上必要	上司の指示	ついでに	何となく	その他	計
人 数(人)	33	31	7	1	1	1	74
構 成 比(%)	45	42	10	1	1	1	100

5. 何で知ったか（重複あり）

項 目	学 会 誌	ポ ス ター	委員会関係者	そ の 他	計
人 数(人)	28	17	9	10	64
構 成 比(%)	44	26	14	16	100

6. 興味をもったテーマ（重複あり・ただし、全部に○印をつけられた回答は削除）

項 目	河川水質	水理模型	公害地計画	灰-トキシカ	生産統計	処分需要	NP発生源	琵琶湖	湖水水質	計
人 数(人)	19	13	12	35	12	7	14	13	20	145
構 成 比(%)	13	9	8	24	8	5	10	9	14	100

7. 今後とり上げるべきテーマ

項 目	大 学	地方公務員	国 家 公 務 員	研 究 所	電 力	コンサルタント	建 設 業	計	
全 概 的 向 題	汚 染 予 測		1		1			2	
	環境アセスメント	1		1		1	3	6	
	計 劃 法	3		1		2		6	
	環 境 哲 学	1				1		2	
	教 育 法	1						1	
	環境計画創	1		3		1		5	
	環境モデル	1			1			2	
	トータルシステム						1	1	
具 体 的 向 題	海 洋 汚 染	1		2		1	1	5	
	下 水 道		1					1	
	農 業 物		1	1	2	1		5	
	水 質 汚 濁			2	1	1	6	10	
	温 排 水					1		1	
	騒 音					1		1	
無回答（不明確を含む）		7	3	1	4	0	1	4	20

アンケートの御回答を頂きました方々の御協力ありがとうございました。 厚く御礼申し上げます。

所属されている機関、仕事の内容、世代等により環境問題に対する関心、要求等が多様性をもっていることは本委員会の最大のテーマであり、発足以来討議を重ねてきたわけですが、このアンケートの結果から、もっと考えねばならぬ点が多いことが示唆されました。 この結果を今後の活動に役立てて行きたいと考えており、その成果の一部が今回のシンポジウムと考えております。

なお、今回の終了後に同様なアンケート調査を行いたいと考えておりますので、皆様の御意見を賜りますようお願い申し上げます。